



学校だより  
ながや

令和元年度 第3号

令和元年 5月31日

横浜市立永谷小学校

校長 平野 好子

はじめまして

副校長 大島 恵子

この4月、栄区庄戸小学校より永谷小学校に副校長として着任しました大島恵子です。以前、近隣の舞岡小、港南区にある日下小に勤務していたことがあり、なじみのある港南区に再度着任し、うれしさと懐かしさを感じています。

着任してすぐに校門と校庭に咲く見事な桜に魅了されました。B棟の教室の窓からは、手を伸ばせば満開の桜の花に触れることができそうで、この景色に心が躍りました。桜の花が大好きな私は、これからの永谷小での毎日が素敵なものになるに違いないとわくわくしています。

さて、永谷小の職員となって2か月たちますが、永谷小学校の印象を書かせていただきます。

まず、委員の方を始めとする保護者の皆様、学援隊を始めとする地域の方々、学習支援等ボランティアとして関わってくださる皆様、本当に多くの方に支えられて、本校の教育活動が成り立っていると感じます。いつも頭が下がる思いです。本当にありがとうございます。

次に、子どもたちがあいさつを大事にしているということです。廊下ですれ違う時に、気持ちのよいあいさつをしてくれることはもちろんのことですが、心が温くなるエピソードを一つ紹介させていただきます。創立記念式の際、地域の方をお招きして永谷の歴史についてお話をさせていただく機会がありました。式が終わり、その方がお帰りになる時に校門ですれ違った子どもたちが「今日はありがとうございました。」「気をつけて帰ってください。」「と口々にお礼を言っていたというのです。このことを後でうれしいご報告として、電話で聞かせていただきました。あいさつを通して「人とのつながり」を大切にしていくな本校の姿勢が子どもたちに身につけているのだなと実感させられた出来事でした。

校長先生を始め、職員のエネルギーにも驚かされます。朝早くから授業の準備を始める先生。中休みは、子どもたちと共に校庭を走り回り、放課後は熱心に子どもたちのノートチェックをしていたかと思えば、夜遅くまで宿泊学習の検討を続ける先生たち。働き方改革を進めながらも子どもたちを思う先生たちの情熱は素晴らしいです。

永谷小学校は、子ども、保護者、教職員、地域、ボランティアの方々のよりよい学校を作っていこうという思いにあふれています。そして、その思いが実現できているからこそ、子どもたちは日々生き生きと学校生活を送れているのだと思います。一日も早く慣れて、微力ではありますが、皆様のお力になりたいと思います。どうぞよろしくお願いします。